

提出日：平成 30 年 4 月 29 日

平成 29 年度 大阪大学蛋白質研究所 拠点事業

(2) 研究成果の概要

課題名	がん転移において遠隔臓器特異的に発現するタンパク質の解析		
研究代表者	氏名	富田 毅	
	所属機関名・部局名	東京女子医科大学・医学部	
	職名	助教	
事業名 (該当の事業名の右欄に○)	<input type="radio"/>	共同研究員	
	<input type="radio"/>	超高磁場NMR 共同利用研究課題	
	<input type="radio"/>	クライオ電子顕微鏡共同利用研究課題	
	<input type="radio"/>	客員フェロー	
蛋白研受入担当教員名	高尾 敏文		
<p>mTOC タンパク質と相互作用するタンパク質の同定とその生理機能の解析を行うために、mTOC の抗体を用いたプルダウンアッセイを行った。さまざまな条件下でプルダウンを行い 20 種類以上のタンパク質が mTOC の結合タンパク質の候補として次のステップに進めた。</p> <p>次に mTOC と相互作用する可能性が想定される候補因子について、cDNA クローニングを行い、HEK293T 細胞での過剰発現系を作成したのちに、それらの候補因子が mTOC に結合するかどうかを調べたが、MTR4 のみが再現性のある相互作用を示した。そこで MTR4 と mTOC との相互作用に注目し、相互作用に関与するアミノ酸を同定することを試みた。MTR4 と mTOC それぞれについて、分割した部分体を作成し、大腸菌、昆虫細胞、HEK293T 細胞を用いた発現系を作成し、それぞれのプルダウンアッセイによって結合を評価した。現在 mTOC 上の MTR4 相互作用領域を絞り込むことができたので、さらに部位特異的アミノ酸変異を導入したフラグメントタンパク質を作製し、その作用点をアミノ酸レベルで同定することを目指している。</p>			

※本様式は、“拠点事業成果報告”として、拠点ホームページにて公開させていただく予定です。

※必ず A4 用紙 1 枚におさめて下さい。 ※提出期限：平成 30 年 5 月 18 日（金） ※提出の際は PDF 変換して下さい。

※提出先：大阪大学蛋白質研究所拠点プロジェクト班 E-mail: tanpakuken-kyoten@office.osaka-u.ac.jp